

防災会からのお知らせ

お餅による窒息をなくしましょう！

日本ではお正月に餅料理を食べる食文化があるため、この時期多くの高齢者がお餅をのどに詰まらせ、窒息するといった事故が毎年後を絶ちません。

高齢者は噛む力や飲み込む力が弱く、また詰まりかけたときにむせる反応も弱いため、多く発生する傾向があります。

餅ばかりでなく肉、コンニャク、里芋など様々な食べ物による同種の事故が一年を通して発生しており、死亡してしまうこともあります。

窒息事故を防ぐために

1. 餅・肉等は、小さく切って食べやすい大きさにしましょう
2. 急いで飲み込むことなく、ゆっくり噛んで食べるようにしましょう

窒息時の応急手当

せきをさせる

せきをすることができるなら、せきを続けさせる



背中をたたく（背部叩打法）

1. 手前に引き起こして横向きにし、自分の足で詰ませた人の胸を支える
2. 片手で詰ませた人の顔を支える
3. もう片方の手の付け根で、詰ませた人の肩甲骨と肩甲骨の間を強く4～5回、叩く
4. 口の中をのぞき異物が見えれば、顔を自分の方に向ける
5. 清潔なガーゼ・ハンカチ等を指にまきつけ異物をかき出す